

著名工事 視察の手引

道路著名工事

①東京府放射線及び環狀道路新設工事 ②延長15里幅12間の舗装道路を新設するものにして、道路の從斷勾配を可成緩かならしめ、山手方面の急坂を緩和せしめんとす。尙排水設備に重きを置き泥土の埋填を考慮し路線内の下水工事も計算上の斷面よりは大きならしめたり。舗装よりも道路々盤工事に重きを置く。(次に第一道路改修事務所の分を見る)

③ローレン式アスファルト・プラント1臺、ローラー12臺、コンプレッサー、ランマー、ペーピングブレンカー、コンクリートミサー3臺、貨物自動車5臺其他。

④大崎橋架設工事、エビス驛附近8間道路(放射線)澁谷神宮通、表參道より道支坂下迄12間道路(環狀線)澁橋より中野郵便局前迄幅25米(放射線)澁橋町新宿ガード南手より戸塚小澁橋に至る8間(放射線)大久保百人町幼年學校附近より戸塚源兵衛まで12間(環狀線)戸塚源兵衛より高田町境まで12間(放射線)幼年學校前より戸山學校まで8間(放射線)大崎町居木橋より品川東海寺附近に至る12間(放射線)羽田町大鳥居前より品川に至る12間、以上工事中

⑤東京府土木部都市計畫課第一道路改修事務所長(澁谷)鈴木善之助氏、第二出張所長(集鴨)上村爲人氏⑥直營及び請負 ⑦昭和5年 ⑧第一事務所は省線エビス驛下車目黒役場へ向つて3丁右手(澁谷町下通り)、第二事務所は省線板橋驛下車大正大學前(西スカモ町スカモ)

①芝區札の辻電車通りより芝浦に至る 都市計畫事業街路一等大路第三類第二號路線築造工事 ②③鐵道東海道線を架道橋により横斷し復興計畫管線第一號路線に接續する等關係重大擁壁工(鐵筋コンクリート高30尺)を主とす、④目下擁壁基礎工事の一部ベテスタルパイル竣工、次いでコンクリート擁壁工に着手 ⑤東京市土木局道路課技手小山斐夫氏 ⑥基礎工事請負者は東洋コンプレツソル會社、他は直營 ⑦一部は4年度施行、完成期は昭和5年度の豫定。

①四谷區大木戸電車通りより千駄ヶ谷觀音町橋通りに至る 都市計畫事業街路一等大路第三類第三號路線築造工事 ②地勢比較的複雜にして鐵道線路、明治神宮裏參道等々横斷する爲工作物の種類多し、路面はアスファルト舗装將來軌道豫定のヶ所は簡易舗装工施工 ③家屋移轉終了部分に對し施工中出來高約3割 ④東京市土木局道路課 ⑤直營東京市土木局道路課立川技師 ⑥昭和五年三月三十一日 ⑦市電四谷大木戸下車 ⑧明治神宮外苑、新宿御苑。

①四谷區新宿旭町地内道路工事 ②12間幅道路の中

本欄は次の順序に配列記載します。

- ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
- ④工事現状 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
- ⑦竣工豫定 ⑧道順 ⑨附近名勝地

次に簡易舗装を施工し、車道交通頻繁のヶ所はアスファルト舗装延長約200間 ③西新井の東京市アスファルトプラントに於て配合して運ぶ ④擴築部分家屋移轉終了の爲一時中止中の處一部移轉せるに依り昨年8月1日より施工中一部竣工 ⑤東京市土木局道路課技師立川大市氏 ⑥直營工事、道路課技師大井川三平氏 ⑦昭和5年3月 ⑧新宿ホテイ屋前、市電追分下車。

東京附近橋梁著名工事

①萬世橋架設工事(東京市神田區) ②假締切代用としてトラフを架設し地下鐵道を同時に施工す ③河底を横斷する地下鐵工事を先にする爲め鋼鐵製溝形を以て河流を通し舟行に支障なからしめ次に下部の工事に着手する、總てスチールシートパイルにて締切を施し地下鐵工事もオープンカットにて施工する諸種の設備あり ④洞梁工事は一部防水工事等完成、現在は橋面工事を進めつつあり、懸念されたるトラフ下掘鑿も異狀なし ⑤東京市役所土木局橋梁課技手反町甚三郎氏 ⑥大林組 ⑦昭和5年1月豫定 ⑧省電萬世橋驛又は須田町 ⑨聖橋、お茶水橋、ニコライ堂。

①戸田橋架換工事(東京府北豐島郡志村、埼玉縣北足立郡戸田村立會、國道九號線荒川筋) ②橋臺間距離539米59、橋梁上部構造東京府寄洪水敷部長21米上路式鋼板桁橋17連、埼玉縣寄低水敷部下路式原木型構橋一連徑間157米5中央徑間87米5側徑間35米中央部ローレン式構橋13米75)橋床鐵筋コンクリート床版にアスファルトブロック舗装、基礎工事は原木型構橋主要橋脚鐵筋混凝土造り二基、基礎井筒深41米及37米5、鋼板桁橋脚橋臺及び構橋鎮礎用橋脚橋臺19基は末口10時長55呎、60呎、70呎の米松杭を基礎とし其上に鐵筋コンクリートを以て築造す、總工費金126萬9400圓 ③昭和4年5月22日起工式舉行 ④埼玉縣土木課高田技師設計監督 ⑤基礎工事間組請負 ⑥昭和6年3月。

東京市内建築著名工事

①麴町區永田町新議院 ②日本の代表的大建築(工事畫報大正15年1月號參照) ③鐵骨工事、コンクリート工事、石材工事等に機械的大設備在り ④鐵骨工事を終り混凝土及び石積工事中、全體の約6割竣功 ⑤犬藏省營繕管財局にて懸賞設計募集により案を執り同局工務部にて設計及監督、工事場主任技師小島榮吉氏、現場分擔主任技師栗原忠一氏、技師肥塚照次氏、工學士中榮一徹氏 ⑥コンクリート工事全部直轄、他は部分的請負 ⑦昭和6年 ⑧東京驛より自動車往復20分 ⑨首相官邸、藏相官邸、文相官邸、參謀本部等在り。

著名工事 視察の手引

本欄は次の順序に配列記載します。
 ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
 ④工事現場 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
 ⑦竣工豫定 ⑧道順旅費 ⑨附近名勝地

地下鐵道工事

①東京地下鐵道工事(上野萬世橋間) ②路下式閉塞の地下鐵道として我國最初の工事で第一期線上野淺草間施工の經驗により本區間の設計施工は大に經濟的となりたる事 ③杭打機、掘鑿機 土砂搬出機其他コンクリート施工設備等完備せり ④昭和四年十二月末完成 ⑤東京地下鐵道株式會社建設部技師長遠武勇熊氏、現場主任平田技師 ⑥大林組請負 ⑦四年末 ⑧御徒町驛又は萬世橋驛下車。萬世橋今川橋間工事は清水組請負にて進工中。

東京附近鐵道工事

①秋葉原貨物驛改良工事 (東京市上野神田間)
 ②二層式设计にして貨物の昇降は専らエレベーター及シユートを使用し長尺もの及重量品の昇降には「シユート」を使用す ③「スチームパイルドライバ」、ロコモチープラケレン「電氣コンクリートミキサー」、コンクリートシユート」等を使用せり ④全工事の過半部を竣功し昭和三年四月一日より使用を開始し殘部工事中 ⑤監督主任者(土木、建築)第一改良事務所設計掛(機械)工作局、現場監督主任伊本技師 ⑥(土木建築)錢高組、(シユート)東京石川島造船所(エレベーター)日本エレベーター製造會社 ⑦昭和五年度末 ⑧省線秋葉原驛下車
 ⑨東京市神田青物市場、地下鐵道工事、上野公園、
 ①下河原砂利採收場 (中央線國分寺支線玉川附近)
 ②「ドラッグラインエキスカベーター」若くは「スチームシヨベル」にて採掘したるものを構内に運搬し第一篩にて大玉石を抜き之を第二、第三の篩を通すと同時に水洗をなし普通コンクリート砂利、鐵筋コンクリート砂利、の三種に區分する装置とし大玉石は碎機にて破碎したる後第二、第三篩を通すものとす(設計能力一時間五立坪) ③設備東洋第一と稱せらる、尙ほ上記篩分洗滌所の外五十馬力「モーター」により運轉する能力一時間約三立坪の採集船を有し尙「スチームシヨベル」、「ドラッグラインエキスカベーター」等を使用す ④以上諸機械を運轉する外に人力採掘を合せ年額四萬立坪内外を採集す ⑤鐵道省第一改良事務所設計掛(及工作局)、採集現場監督、田尻技手 ⑥(篩分所)錢高組、當地榮治郎氏、高田商會、荒川製作所、採集船、明石組 ⑦中央線國分寺驛下車貨物列車便乘 ⑧向ヶ丘遊園地、分梅河原古戰場、百草園、大國魂神社。

河川著名工事

①目黒川改修工事 ②都市内に於ける河川工事として幅14間延長4081間、運河として内364間を設備す、コンクリート間知ブロックを護岸に使用す。

③スチームシヨベル、ドラッグラインエキスカベーター電氣機關車(土運搬用)等使用 ④全體の約30%竣工、品川町品川橋下より森永橋間を掘鑿及護岸工事中、新國道と舊國道間は竣工 ⑤東京府土木部都市計畫課、目黒川改修事務所長平井技師 ⑥直轄工事 ⑦昭和五年度 ⑧市電北品川終點下車約6丁利田新地。

①信濃川補修工事 (新潟縣三島郡大河津村附近)
 ②東洋第一を誇りたる大河津分水自在堰が昭和二年六月陥没せる爲め之が復舊を目的とし同時に下流寺泊に至る分水路の補修工事をなすもの工費446萬圓 ③締切工事にシートパイルを極度に利用し、サクシヨンドレツザヤー、索道、スチームシヨベル、採石設備其他土工用の大機械類を使用せり ④昭和二年十二月起工、(三年一月號詳報)可動堰工事基礎及び固定堰工事中にして、第一床固工事は竣功し第二床固工事施工中なり。五千石及石港兩床留工事は竣功、附帶低水工事殆んど弱竣功せり ⑤内務省新潟土木出張所長青山士氏、信濃川補修事務所(大河津所在)主任工學博士宮本武之輔氏 ⑥直營工事 ⑦昭和五年度 ⑧舊越後鐵道線大河津驛下車 ⑨彌彦神社。

鐵道トンネル著名工事

①丹那トンネル工事 (熱海建設事務所) ②延長25,614呎、形狀、複線圓弧形高さ22呎6吋、幅25呎(勾配)兩坑門より四百四十分の一上り勾配西坑門起點5,822呎より11,451呎間三百分の一、(覆工)側壁は場所詰混凝土、穹拱は混凝土塊積(一部分煉瓦石を使用せし所あり)厚きは2呎1吋乃至4呎5吋半(掘鑿方式)主として塊太利式に依る(排水隧道)内法り高さ幅共に6呎排水能力一秒時間約150立方呎の排水専用隧道を主體隧道の左側に50呎以上を隔て全長に亘り築造す排水隧道の底面は主體隧道施工基面以下5呎2吋とす ③隧道掘鑿其他工用原動力とし總て電力を使用せり而して本隧道兩口諸設備は東口(熱海)主要遞降變壓機3個、高壓空氣壓搾機3臺、回轉變流機2臺、電氣機關車5臺、「ターボ」送風機2臺、パツチャープランター組。西口(大竹)大笑火力發電所一ヶ所、主要遞降變壓機3臺、高壓空氣壓搾機3臺、底壓空氣壓搾機4臺、廻轉變流機2臺、電氣機關車6臺、換氣機2臺、材料運搬用蒸氣鐵道延長約2哩、尙附帶設備として救護所を設置し醫員を專屬せしむ ④工事現狀昭和3年10月末日。

底設導坑 東口 10,100呎 西口 項設 10,500呎
 覆工 // 呎 // 呎
 水抜坑 // 呎 // 呎
 ⑤鐵道省建設局、監督主任者、熱海線建設事務所長

著名工争 視察の手引

鐵道技師川口愛太郎氏、現場監督者(熱海)派出所主任鐵道技師 岡野精之助氏、詰所主任 技手 福島龍八氏(大竹)派出所主任 鐵道技師 橋本哲三郎氏 詰所主任 市川技手 發電所主任 鐵道技手 淡銀次郎氏 ⑥東口(鐵道工業株式会社資會社主任田中仙太郎氏、西口は鹿島組主任 櫻井金作氏。

①清水トンネル工事 (上越南線及北線を連絡する清水峠の下を貫く 東洋第一の長大隧道延長實に31,331.8 呎) ②掘鑿方式は薪炭國式及上部開鑿式、隧道形狀は乙型及乙型變型即乙型のスプリング以下側壁を直にしたもの ③材料運搬用鐵道設備(電車蒸氣著電車カマリン車)變電所壓搾空氣設備、換氣機設備諸機械(鑿岩機其他)修繕工場設備、碎石、碎砂、木工場設備 ④昭和四年十二月二十九日導坑貫線土合口昭和4年14月末日壘築6,230 呎出來、北線通す。南土樽口昭和4年10月末日現在、壘築拱8,142 呎出來 ⑤鐵道省建設局 監督主任技師 土合口は東京建設事務所佐藤周一郎氏、土樽口は長岡建設事務所善如寺秀太郎氏 ⑥鐵道省直轄 土合口東京建設事務所技手關野廣造氏、土樽口長岡建設事務所 技手沼崎寧氏 ⑦昭和6年3月 ⑧土合口は上越南線上驛下車、土樽口は上越北線越後湯澤驛下車輕便にて土樽詰所に至る詰所より約一丁にして坑口 ⑨土合口に近く湯檜曾温泉、ループトンネル工事、土樽口に近くスキー場(隧道附近一帶)湯澤温泉、ループトンネル工事。

①上越北線第二松川隧道工事 (位置上越南線澁川起點38m00:351 延長5,388 呎9) ②環狀形線路中設けられたる隧道 ③動力所、修繕工場、鑿燒工場、木工場、治療所、其他假事庫假官舎等約五十棟 ④掘鑿方法鑿岩機使用、岩質硬砂岩湧水少量にして掘鑿簡易なり、4年2月貫通、切填中 ⑤鐵道省長岡建設事務所直轄工事現場主任 技手 馬場忍氏、同止 黒川正輔氏 ⑥昭和6年6月 ⑦上越線越後湯澤驛に下車し工事に輕便に乗り鐵道省松川詰所に至りこれより徒歩 ⑧湯澤温泉、東電湯澤發電所。

①上越北線松川第一隧道工事 (上越南線澁川起點36.m53:501 延長5,286.6 呎 ②積雪を考慮し山腹に設けたるものなり ③松川第二隧道と同一なり ④掘鑿方法手掘、土質軟きため掘鑿に困難なり導坑進行4年10月末日5,84 呎、4年中に貫通の筈 ⑤鐵道省長岡建設事務所直轄工事主任 技手馬場忍氏、同上 林野準之助氏 ⑥昭和4年9月 ⑦上越線越後湯澤驛に下車工事に輕便に依り鐵道省松川詰所に至りこれより徒歩 ⑧湯澤温泉、東電湯澤發電所。

①木次線下久野隧道工事(米子建設事務所) ②延長1.5 哩單線片勾配主として掘鑿は機械掘 ③空氣壓搾機其他諸設備は下久野側のみ之を設置す而して

本欄は次の順序に配列記載します。

- ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
④工事現場 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
⑦竣工豫定 ⑧道順旅費 ⑨附近名勝地

以上に要する動力及電燈用電力は水力電氣會社より購入し ②昭和2年12月25日着手4年2月20日現在底設道坑進行679m 壘築拱70m ③鐵道省米子建設事務所 鐵道技師 南信一氏 ④鐵道省直轄現場施工主任者 鐵道技手 石田啓次郎氏 ⑦昭和6年3月 ⑧山陰本と宍道驛一私設鐵上鐵道大東驛(8r6 大東下久野、乗合自動車約2里) ⑨宍道驛前面に宍道の湖水あり。

①因美線物見隧道(鐵道省岡山建設事務所) ②延長3km74m76、其内智頭口(チヅ)と稱する鳥取方の延長1km846m49にして勾配 20/1000、津山口は勾配 3/1000岩質は花崗岩 ③チヅ日は二交代作業にて鑿岩機ライナー26番を使用し其他機械設備を有す、津山日は初め手掘にて日下機械使用掘鑿中である ④坑口昭和4年1月11日着手日下一日平均3m 内外進行しつつあり。⑤岡山建設事務所、チヅ口現場主任森技手、津山口主任吉原技師 ⑥チヅ口は鐵道工業會社請負、津山口は橋本店請負 ⑦昭和6年9月 ⑧鳥取より因美北線智頭驛下車、自動車にて那岐まで30分間を要す。津山口は津山驛より自動車1.5時間。

①萩線大刈隧道工事 ②延長2,217m、單線新中間型勾配京都方10‰萩方13‰、③掘鑿は機械、手掘併用エアコンプレッサー鑿岩機其他工場設備 ④昭和3年1月掘鑿着手、4年8月4日貫通した、貫通前後の一日進行尺は33尺に達した ⑤鐵道省山口建設事務所、技師岩崎憲吾氏、技手柴田一雄氏、内田恵助氏、畑山正平氏 ⑥西本建次郎氏 ⑦昭和5年12月20日 ⑧山陰本線須佐驛下車隧道口徒徒歩30分 ⑨名勝天然記念物須佐瀨あり。

水力發電所工事

①廣島電氣瀧山川發電所工事 (廣島縣山縣郡加計町 ②水路延長3,652 間内3,272 間は隧道にして内徑6.6 尺の馬蹄形。勾配 20/1000、水深6.6 尺。水面上3 尺の空間を作り木材等を流す。落差718 尺、水壓管長1,118 尺、内徑上部6 尺、下部4.5 尺、1 萬馬力水車2 臺据付。最大出力15,000K. W. ③50 馬力乃至150 馬力コンプレッサー—總計14臺、鑿岩機50 臺、シャープナー7 臺、其他 ④目下工事中8 割進行 ⑤廣島電氣株式會社建設部長赤松三郎氏 ⑥川北土木、田原組、西松組。 ⑦昭和5年3月 ⑧廣島市より乗合自動車にて約3時間 ⑨戸河内村三段峽。

①朝鮮成鏡南道赴戰江朝鮮水電會社 走戰江水力發電工事 ②鴨綠江の支流を堰留め日本海に逆流して3,000 尺以上の落差を利用するもの(工事畫報二年六月號参照) ③工事専用鐵道、索道、イングラ

著名工事 視察の手引

イン、機械修繕工場等の大設備を見るべし ④堰堤工事隧道等竣功 ⑤工務部長久保田豊氏、建設主任松村種雪氏 ⑥コンクリート工事を直轄とする外は全部請負にて第一工區松本組第二工區長門組第三工區と大堰堤は間組、鐵道工事は鹿島組及び西松組其他 ⑦昭和5年 ⑧京城より成鏡南部線成鏡驛に下車し、私設朝鮮鐵道成南線に連絡乗車し、西新興驛に下車、同所より以北は水電會社専用線に乘車の事務所は松興里に在り旅館三島屋の宿泊料一泊一等金3圓50錢、京城から西新興驛迄、二等往復汽車賃23圓、京城から工事ヶ所最北の堰堤迄往復日數7日間を要す。 ⑨千佛山の奇山峻峰在り、成興は李朝發祥の地で本宮歸州鑄、定陵、和陵等がある。 ⑩高岡發電所（宮崎縣東諸縣郡高岡町）⑪大淀川の水力を利用す、水量最大2,530個平均2,000個、有效落差197尺乃至179尺、出力30,000 K. W. ⑫貯水池堰堤長400尺、高110尺、テンターゲート（36尺×17尺）8門、調整池堰堤長430尺、高70尺、隧道4ヶ所（内徑18尺餘）延長計11,126尺88（延長2千尺乃至7,945尺）サージタンク内徑51尺高80尺水壓鐵管三條内徑10呎4吋延長477尺餘、水車堅型單放水式フランシスタービン14,50馬力3臺 ⑬昭和3年6月起工 ⑭大淀川水力電氣株式會社建設事務所長（取締役）濱田東稻氏、電氣部長内田秀四郎氏、土木部長山口圭助氏 ⑮請負 飛鳥組、鹿島組 ⑯昭和5年10月竣工豫定 ⑰道順 宮崎驛下車約六里（乘合自動車あり）面早流に下車 ⑱名勝 陸摩藩舊關所跡 ⑲昭和電力庄川第二發電所工事 ⑳230餘尺の高堰堤を設けて庄川を締切り、落差230尺、約2,970個の水量を利用す。出力最大73,538（理論）馬力最大4,594K. W. の發電力を有す ㉑貯水池堰堤長420尺、補助堰堤長560尺、何れもコンクリート重力式堰堤。導水路内徑16尺、270間。水槽は減壓水槽にして内徑51尺、最大水深100尺。水壓鐵管3條内徑13.5尺。發電所建物【鐵筋混凝土造310坪。シングルスパイラル・フランシス型水車3臺を据付く（馬力數最大27,000馬力）發電機米國G.E. 會社製3臺（容量20,000K. V. A） ㉒目下90%竣功 ㉓所長衣川清一氏、土木主任水谷佐七氏電氣主任稻葉重治氏、事務主任山崎三七介氏、㉔4年末 ㉕北陸本線高岡驛より中越線に乘換え終點城端驛下車徒歩6里 ㉖附近に第一發電所あり。 ㉗東信電氣會社河原發電所（千曲川水系） ㉘取入口は北佐久郡川邊村發電所は同郡北御牧村大日向、取水ヶ所幅80間にテンターゲート設置、水路延長3,500間水量1,200個、落差178尺、出力14,175キロ ㉙九分通り出來、トンネルは全部手掘りにして一導坑平均6尺位の進行 ㉚主任土木技師鈴木長治、飛鳥

目下工事中の著名なるものを視察せんとする人の手引として本欄を設く、旅行の序に視るも良し、わざわざ視察に行く讀者には工事畫報社から御便宜を得らる様に工事主任者へ御紹介を致しますから申込み下さい。

組請負 ⑦昭和3年6月着工昭和4年末月竣工豫定

最近竣工の發電所

①庄川電力小牧發電所 ②ダム式發電所にして高さ260呎高さ1,000呎貯水量17億立方尺、落差240呎にて出力72,000キロを有する東洋第一のコンクリートの堰堤（總坪數48,000立坪）工事 ③一日20立坪のコンクリート、ミキシングの大設備及び工車専用電車（25噸4輛）蒸汽機關車5輛、9哩の専用軌道を有す工事畫報三年七、八月號參照 ④竣工本誌五卷十一號參照 ⑤日本電力株式會社技師石井穎一郎氏（堰堤）、早瀬眞平氏（發電所） ⑥直營工事及加藤組佐藤組 ⑦昭和4年秋 ⑧富山縣東礪波郡青島村小牧（北陸線高岡驛より又は石動驛より加越線青島驛下車、大阪及東京より汽車賃約10圓） ⑨東信電氣阿賀野川第二發電所工事（新潟縣東蒲原郡豐實村大字豐實） ⑩低落差にして使用水量の大なる點、即ち使用水量最大8,000個、落差82尺、ダム式發電所、出力最大45,000キロワット。 ⑪高32尺幅30尺のテンターゲート19門を備へ、全部開きて370,000個の洪水を溢流す ⑫竣工 ⑬監督主任者、東信電氣株式會社技師長三野熊雄氏 ⑭飛鳥組、石川島造船所、日立製作所 ⑮昭和4年11月末 ⑯磐越西線日出谷驛及豐實驛より約1里 ⑰鹿瀨驛より約30町にして、昨年末竣工せるダム式の鹿瀨發電所あり。 ⑱關東水力電氣會社佐久發電所工事 ⑲鐵管路にナイフェンシアルサージタンクの設備を有する我國最初の設計、使用水量最大2,125箇、落差386尺大調整池の利により出力最大62,000キロを發電するもの ㉑水壓鐵管の鉋打にアルミスターを初めて使用し堰堤コンクリート施工にイナンターター使用 ㉒竣工 ㉓關東水力電氣株式會社技術部長鶴田勝三 ㉔飛鳥組、如藤組 ㉕上野驛より高崎を経て前橋驛又は澁川驛下車自動車20分にて飯東橋下車徒歩20分にて佐久發電所事務所に達す ㉖伊香保温泉、利根川の清流。

○最近國道橋工事個所

熊本縣、バスキユール、増田淳設計
廣島縣、軍事國道、二級橋。
靜岡縣、濱名橋（竣工）
茨城縣、霞ヶ浦、神宮橋
山形縣、村山橋（12月10日竣工）
熊本縣、萩原橋（工事中）
神奈川縣、葉山トンネル
同、簡易鋪裝
鈴ヶ峠、滋賀縣、横田橋。